



篠小だより

～学ぶ つながる 篠原の子～

令和5年9月29日

10月号

〒222-0022 横浜市港北区篠原東三丁目27番1号 TEL045-401-9532 fax045-431-9538

自分で実際にやってみること、本物に出あうこと

校長 松久保伸子

「チョコレートが5こあります。2つ食べました。残りのチョコレートはいくつですか。」

このような問題をお子さんに出したことはありませんか？おうちでしたら実際にチョコレートを食べ、残り3こを導き出すことができます。しかし、学校の算数の時間にチョコレートを用意することはできないので、1年生の教室では半具体物の算数ブロックを使用します。5このブロックから2こを離して、残り3こであることを確認します。子ども達は成長するにしたがって、実物ではないものからも学ぶことが上手になっていきます。ブロックはやがて〇のような図に代わり、そして頭の中でイメージできるようになっていきます。学校では様々なことを学習しますので、この力はとても重要なものになりますが、できれば可能な限り本物に出あわせてあげたいものです。

コロナ禍では、友達と握手することも肩を組むこともできませんでした。子ども達が使う教材を教職員が逐一アルコール消毒をしていた時期もありました。たくさんの実体験を伴う学習が実施できない状況に追い込まれていました。今年度は、感染症が完全になくなるわけではないので配慮しながらになりますが、実物を触ったり使ったりした五感を使った学習をどんどん展開したいと考えています。その中の一つとして今回実践できたのが、3年生の総合的な学習の時間の中で行う、「お店体験」です。インタビューだけではなく、お店の仕事を手伝わせていただく「お店体験」を実践しました。子ども達も以前出かけたまち探検でお店を見るだけでは満足せず、お店に入りたい、何かやってみたくと強く願っていました。



その気持ちに妙蓮寺駅前の商店会「ニコニコ会」の皆さんがこたえてくれました。12の店舗が、2日間30分ずつ5、6名の子ども達を受け入れてくださったのです。左の写真はドライバーの使い方を教わっているところです。そばをゆでる。氷を削る。お札を数える。商品を並べる。レジ打ちをする。写真を撮る。物件見学に行く。薬をパウチするなど。学校の中ではできない経験をさせていただきました。体験を終えて帰校中に、何をしたのか私に話してくれる3年生はだれもが饒舌でした。商店会のアンケートに「初めてお店体験をして、お店の人はこんなふうには仕事をするのかと分かったから、すごく楽しかった。」と書いた3年生もいました。これから体験したことを仲間と共有し、驚いたことや分かったことを誰かに伝えたいと、さらに強く願うことでしょう。どんな学習を展開していくのか、楽しみでなりません。そしてこの学習の中には、国語も算数も理科も社会も道徳もみんな関係していきます。多重に絡まり合い、より深く子ども達の心の中に刻まれていくことでしょう。自分で実際にやってみること、本物に出あうこと、子ども達が大好きな学習方法の一つです。これからも大事にしていきたいと考えています。

アトリエK・おでんの種の店八州屋・鴨屋そば香・坂本薬局・茶寿・シノノカ・住まいの松栄・フクダデンキ・ペンギンカメラ・横浜銀行・横浜妙蓮寺郵便局・ループス 12店舗の皆様そしてニコニコ会会長をはじめ役員の皆様 本当にありがとうございました。